

様式第1号（第6条関係）

協働事業に関する提案書

令和 6年 1月 9日

（あて先）狭山市長

団体名 こそだて支援 comono

所在地

代表者名 児玉 保光

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	おさがり交換会
3 事業期間	令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月 31日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	総額 292,400円（内補助金申請額 292,000円）
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	環境保全の一環として、リサイクル及びリユースを自然と行うことができる機会の提供及び育児中の保護者の居場所作りを目的として、サイズアウトした洋服等を持ち寄り、譲り合える「おさがり交換会」を実施する。
7 希望する担当課 ※不明の場合は未記入	環境経済部 環境課
8 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号）



協働事業に関する企画書

団体名 こそだて支援 comono

<p>1 事業名</p>	<p>おさがり交換会</p>
<p>2 事業の詳細</p>	<p>モノが溢れ、比較的安価に洋服などが手に入り、且つ核家族化している現代において、子どもの洋服や雑貨、おもちゃなどは、まだ使用できるにも関わらず、行き場をなくして処分されることも多い。一方で、小さな子どもとの生活においては、汚れてもよい洗い替えの服を何着も必要とするなど、すぐにサイズアウトしてしまうものの、量を必要とする洋服のニーズが高い。そこで、子どものおさがりを提供でき、かつ他の方から提供された服や靴、雑貨等を無料で受け取れる場を提供することによって、モノを循環させる仕組みを作る。また、子連れで気軽に足を運べる居場所として、市内の子育て支援情報も入手できる場としても機能させる。</p> <p>おさがり交換会では、提供のみ・受け取りのみ・交流のみといった、どのような形でも参加できる。品数の制限も設けず、各家庭のニーズにあった利用ができる。</p> <p>交換会では、工作等のブースなども設置する。</p> <p>開催は SNS やチラシの作成、市報等で周知する。</p>
<p>3 実施体制</p>	<p>comono のメンバーとボランティアを中心に運営。 開催場所や駐車場、保管場所等は市と連携する。</p>
<p>4 役割分担</p>	<p>【提案団体の役割】 会場設置・おさがりの仕分け・保管管理・スタッフやボランティア、関係者との連絡調整、チラシ作成</p> <p>【市の役割】 開催時の告知、開催場所・駐車場・保管場所の確保、備品貸出し、事業予算の補助</p>

<p>5 協働の効果</p>	<p>各家庭のおさがり品を提供、受け取れる場を市の施設で定期的に開催することで、市がアクセスしづらいと感じている子育て世代との接点を作り、環境に対する関心を意識的・無意識的に寄せることは、持続可能な社会への取り組みにつながる。また、子育て中の保護者の交流の場としても機能することにより、子育てしやすい街づくりの一翼を担う。</p>
<p>6 事業のアピールポイント</p>	<p>これまで約 3 年間開催してきたおさがり交換会の実績をもとに、市と協働で取り組むことにより、子育て世代を中心とした様々な世代に向けて、モノを循環させることは、日々の生活の役に立つだけでなく、ひいては環境保全にもつながっていくのだということを自然と知り、環境に対する関心へと向いていくようなきっかけ作りになると考えている。また、協働で取り組むことによって、事業を安定的に開催し、開催の告知を市報などでも行うことによって、さらに多くの世代間交流が可能になると考えられる。</p>